



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第5回 「森の草本類の特徴と草刈りを学ぼう②(機械刈り・座学)」

日時：令和5年9月9日(土) 9:30～12:30

会場：技術技能講習センター豊玉会場(豊玉北4-1-6-2F)

今回の講座の流れ

公共の緑地で、刈払機を使用した草刈りを行うために必要な「法令に基づく安全衛生教育」として、刈払機種、使用上の確認・注意事項、安全管理、振動障害、関係法令を学びました。

各プログラムの様子



講義の様子



刈払機



プロテクターの紹介

刈払機に関する知識

10月の実習で使用する刈払機の機種を中心に、刈払機の種類や構造、安全装置や緊急離脱装置の確認、刈払機の選定について学びました。刈払機は、使いやすい機種を選ぶことが安全につながることが分かりました。

刈払機を使用する作業に関する知識

刈払機を取り扱う上で大切な準備や作業の確認・注意事項を学びました(作業計画、服装、刈払機の取扱い、運搬時の注意点等)。作業計画において、事前に現地調査を行うことで、安全を意識する作業となることが分かりました。

刈払機の点検及び整備に関する知識

機械を最良の状態で使用し、長持ちさせるポイントとして、点検と整備の必要性について学びました。

振動障害及びその予防に関する知識

振動障害(手から振動を受けることによって生じる身体各部に生じる障害)の症例と予防方法について学びました。次回の実習では、振動を緩和させるために、簡易的なプロテクターを装着します。

関係法令

自身の安全を確保するために、加入している保険内容を確認し、そのうえで、活動者自身が自立的なリスクマネジメントを行う重要性について学びました。

ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

今回のキーワード

安全を意識する作業

安全に作業を行うためには「段取り8分に仕事2分」という姿勢が大切と言われています。事前調査を行うことは、事故を未然に防ぐ第一歩です。どんな植物があるか、穴はないか、蜂の巣はないか、不要物はないかなど、事前の調査は必ず行いましょう。また、自分がどんな行動をとってしまうのか、普段の生活とリンクさせて想像することも大切です。自分で自分を理解し、安全を意識した作業を心がけましょう。

森でみつけた!

頭上に注意



草刈りをする際、視線は足元に集中しがちですが、頭上にも注意しましょう。危険リスクとして、樹木からの硬化した実や枯枝の落下による頭部損傷や、垂れ下がった枝等の障害によって転倒や機械の振り回し動作が発生することが考えられます。これらの危険性等が考えられる場合はヘルメットを着用しましょう。また高木に危険な枝がある場合は、早めに区へ連絡しましょう。

